

9月・10月も 台風、集中豪雨に気を付けよう！

災害対策委員 News とは
市の防災対策に関して、地域と本市との橋渡し
役をお願いしている災害対策委員（区政協力
委員が兼務）の皆様、防災に関する情報を
この News で定期的にお届けいたします。

1959年(昭和34年) 9月 伊勢湾台風



2000年(平成12年) 9月 東海豪雨



東海豪雨

2019年(令和元年) 10月 令和元年
東日本台風



出典:令和元年東日本台風長野市災害記録誌

昭和34年の伊勢湾台風、平成12年の東海豪雨など、これまでも9月以降に大規模な風水害が発生しています。

今年新しくなったハザードマップ（なごやハザードマップ防災ガイドブック）を活用し、風水害時に地域住民の方が安全に避難できるよう、災害対策委員としての役割を確認しておきましょう。

ハザードマップはこちらから→



地域の防災リーダー対象の防災講演会を動画配信

今月のTOPIC

東海豪雨から22年を迎える令和4年9月11日（日）に防災講演会を開催。
講演の様子は、講演会終了後も動画配信しますので、お時間がある際にぜひご視聴ください。（当日のライブ配信もあります）

講演者

寺尾 直樹 氏

NHK名古屋
気象キャスター・気象予報士

西澤 清文 氏

長野市長沼地区住民自治協議会元会長
長沼ワーク・ライブ組合代表



※会場（鯉城ホール）で受講される方は、必ず公共交通機関を利用してお越しください。（駐車場の用意はありません。）

動画の視聴はこちらから→



本市2例目の 地区防災計画 を認定

地域の皆様による自発的な防災活動の計画である地区防災計画。

令和4年6月、天白区植田東学区の計画が本市2例目として認定されました。

※1例目は南区星崎学区（平成29年6月認定）

▶ 植田東学区



▶ 星崎学区



地区防災計画について
はこちらから→



そなえ・まいさんを、 名古屋市防災広報アンバサダーに任命

そなえ・まいさんは、NPO法人・防災自助普及委員会が作成した防災アイドルキャラクター。動画配信中の防災啓発ソング「備えよう!名古屋。みんなで!」もご覧ください。



動画はこちらから→



大きな風水害が起きたとき、 災害対策委員のあなたはどう行動しますか？

災害対策委員の皆さまには、災害時には災害救助地区本部委員として、学区の住民に災害に関する情報（高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保など）を伝えていただき、必要に応じて避難を呼びかけていただく役割があります。

どんなときに 災害救助地区本部へ参集しますか？

学区の地区本部の場所や参集の基準を確認しておきましょう



情報を伝える相手は誰ですか？

早めの避難が必要な方の存在も把握しておきましょう



どの手段で情報を伝えますか？

口頭、電話、SNS …など複数の情報伝達手段を用意しておきましょう



令和元年東日本台風により、甚大な浸水被害、土砂災害等が発生した長野市におけるエピソード

「根拠を示さないと避難してもらえない」
(60代男性、元住民自治協議会副会長)

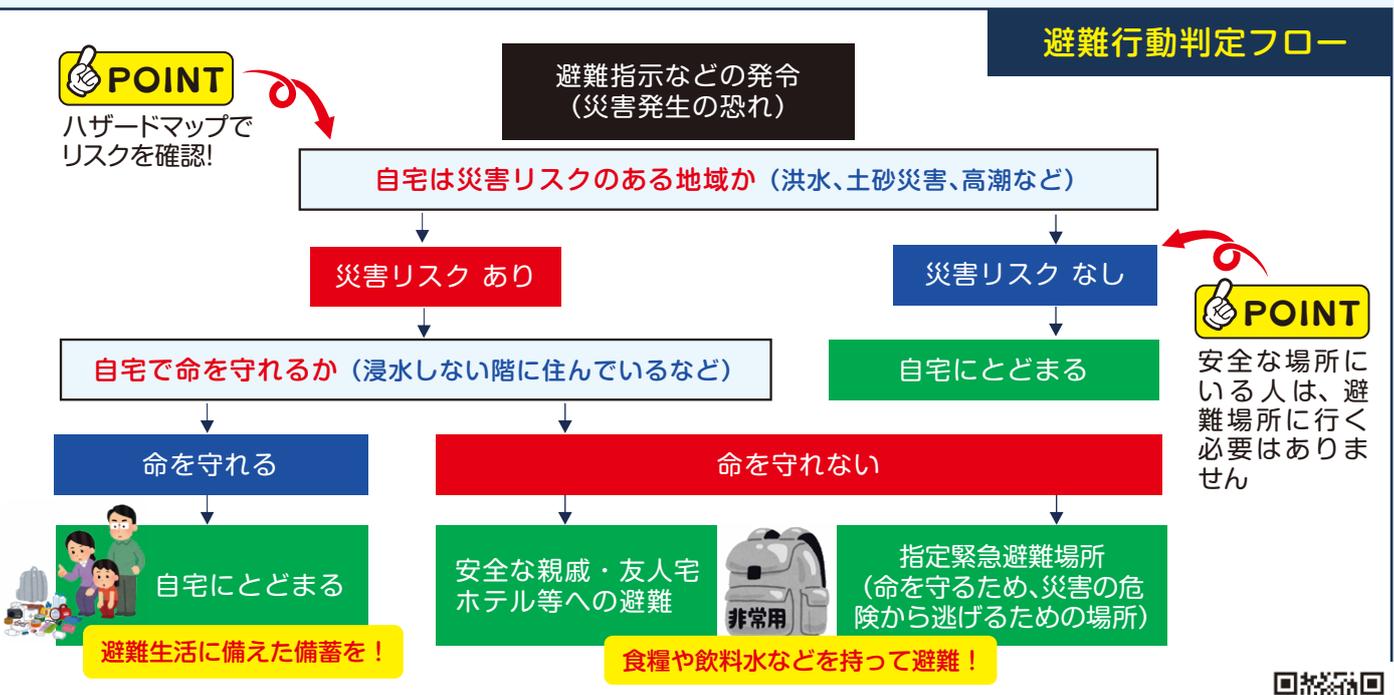
(前略) マニュアルどおり緊急連絡網で逃げるように伝えたのだけど、「逃げろ！」と言っただけで、根拠を説明していなかった。ただ逃げろと言っても「なんでだい？」となってしまった。年寄は、「長く住んでいてそういったことは一度もなかったし、堤防も明るいうちは水が来ていなかったから大丈夫」と言っていた。

「河川事務所からの情報で、ほぼ何時間後に越水するから逃げてください」と根拠を示して伝えないと、住民の皆さんは動いてくれません。(中略) そのように伝えたら、「ほんとかい！」ということで逃げた人がいました。「良く教えてくれた」という人もいました。一番大切なことは伝え方なんです。

出典：内閣府「一日前プロジェクトエピソード集」（一部加工）

災害に備え、普段から地域で啓発しておきましょう

避難場所へ行くことだけが避難ではありません。在宅避難も含め、災害に関する情報が発令されたときにどのような避難行動をとるか、あらかじめ住民の方に考えておいてもらいましょう。



過去に発行された「災害対策委員 News」は、市公式ウェブサイトからご覧いただけます

